



2023年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月31日

上場会社名 株式会社三ツ知 上場取引所 東・名
 コード番号 3439 URL <http://www.mitsuchi.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 和志
 問合せ先責任者(役職名) 取締役総務部長 (氏名) 村越 康幸 (TEL) 0568-35-6350
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第2四半期の連結業績(2022年7月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第2四半期	6,328	3.3	△22	—	45	△84.6	△96	—
2022年6月期第2四半期	6,126	5.5	244	—	298	343.2	228	347.0

(注) 包括利益 2023年6月期第2四半期 176百万円(89.8%) 2022年6月期第2四半期 92百万円(163.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第2四半期	△19.06	—
2022年6月期第2四半期	45.12	—

(注) 2022年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第2四半期	16,813	9,195	54.7
2022年6月期	16,411	9,067	55.3

(参考) 自己資本 2023年6月期第2四半期 9,195百万円 2022年6月期 9,067百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	27.00	—	9.50	—
2023年6月期	—	0.00			
2023年6月期(予想)			—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2. 2022年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2022年6月期の第2四半期末については、当該株式分割前の実績の配当金の額を記載しております。

3. 株式分割を行ったことにより、2022年6月期の年間配当金合計については単純合計ができなため表示しておりません。なお、2022年6月期期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の2022年6月期の第2四半期末の配当金は13円50銭、2022年6月期の年間配当金合計は23円00銭であります。

3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年7月1日~2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,215	6.2	△31	—	38	△92.8	△87	—	△17.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年6月期2Q	5,304,040株	2022年6月期	5,304,040株
2023年6月期2Q	241,688株	2022年6月期	241,688株
2023年6月期2Q	5,062,352株	2022年6月期2Q	5,062,479株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 2022年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数 (普通株式) を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」) をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	12
(重要な後発事象)	12
3. 補足情報	13
(1) 販売実績の状況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が段階的に緩和されたことによる経済活動の回復が進んだ一方、ウクライナ情勢の長期化、原材料価格の高騰に伴う物価上昇、インフレに伴う米欧を中心とした金融引き締め、円相場の急速な変動を背景に依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要取引先であります自動車部品業界におきましては、鋼材価格の高騰をはじめとしたコスト上昇が相次ぐ中、半導体・部品供給不足の長期化で得意先の生産調整が続いている状況です。

このような経営環境の中、当社グループでは、経営理念であります「絶えざる技術革新」と「ニーズを先取りした製品」の「スピードある提供」を通じ、お客様の「揺るぎない信頼のもとグローバル企業」を実現するために、中期経営計画「ビジョン2021」の第2年目として、対処すべき課題の解消に取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高につきましては、為替換算影響とタイセグメントの受注が堅調に推移していることから、売上高は63億28百万円（前年同期比3.3%増）となりました。利益面につきましては、鋼材価格の高騰をはじめとしたコスト上昇等により、営業損失は22百万円（前年同期は2億44百万円の営業利益）、経常利益は45百万円（前年同期比84.6%減）、特別損失として固定資産の減損損失58百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純損失は96百万円（前年同期は2億28百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①日本

得意先の生産調整の影響により受注が減少し、売上高は49億54百万円（前年同期比4.0%減）となりました。利益面につきましても、減収の影響及び製造原価の増加等により1億78百万円の営業損失（前年同期は1億84百万円の営業利益）となりました。

②米国

得意先の生産調整の影響により前年同期に比べ受注は減少しておりますが、為替変動による円安の影響により、売上高は5億77百万円（前年同期比13.8%増）となりました。利益面につきましては、経費削減に努めましたが、固定費を賄えず、40百万円の営業損失（前年同期は46百万円の営業損失）となりました。

③タイ

受注は堅調に推移し、売上高は11億19百万円（前年同期比14.7%増）となりました。利益面につきましても、増収効果により、営業利益は1億50百万円（前年同期比82.4%増）となりました。

④中国

得意先の生産調整の影響により受注は減少しておりますが、為替変動による円安の影響により、売上高は3億38百万円（前年同期比4.1%増）となりました。利益面につきましても原価低減活動による製造経費の減少等と為替変動により、営業利益は35百万円（前年同期比47.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4億2百万円増加し、168億13百万円となりました。

資産の部では、流動資産が棚卸資産の増加、電子記録債権の増加等により、前連結会計年度末に比べ4億43百万円増加し、104億71百万円となりました。また、固定資産については、建物及び構築物の増加があったものの建設仮勘定の減少等により前連結会計年度末に比べ41百万円減少し、63億41百万円となりました。

負債の部では、流動負債が1年内返済予定の長期借入金の減少等があったものの短期借入金の増加、支払手形及び買掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べ6億96百万円増加し、54億75百万円となりました。また、固定負債については、長期借入金の減少、社債の減少等により前連結会計年度末に比べ4億22百万円減少し、21億42百万円となりました。

純資産の部では、利益剰余金の減少、その他有価証券評価差額金の減少がありましたが、為替換算調整勘定の増加により91億95百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の55.3%から54.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1億4百万円増加し、38億94百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費3億62百万円、仕入債務の増加額3億40百万円等による資金増があり、一方で売上債権の増加額1億67百万円、棚卸資産の増加額1億45百万円等による資金減により、3億75百万円の収入(前年同期比7.0%減)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入1億93百万円等による資金増があり、一方で有形固定資産の取得による支出3億29百万円等による資金減により、1億19百万円の支出(前年同期比12.4%増)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加額4億円等による資金増があり、一方で長期借入金の返済による支出4億62百万円、社債の償還による支出1億14百万円等の資金減により、2億43百万円の支出(前年同期比61.0%減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2022年7月29日に公表いたしました予想から修正をしております。

詳細につきましては、2023年1月31日公表の「業績予想の修正と剰余金の配当(中間配当無配)及び期末配当予想の修正(無配)に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、これらは当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,092,400	4,047,305
受取手形及び売掛金	2,078,392	2,171,305
電子記録債権	779,787	901,372
棚卸資産	2,783,601	3,052,153
その他	293,811	299,254
流動資産合計	10,027,993	10,471,391
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,511,568	1,541,943
機械装置及び運搬具(純額)	2,279,832	2,272,152
土地	1,568,838	1,562,222
リース資産(純額)	188,980	181,147
建設仮勘定	63,285	32,420
その他(純額)	131,618	112,406
有形固定資産合計	5,744,123	5,702,293
無形固定資産		
のれん	101,806	92,551
その他	78,473	69,723
無形固定資産合計	180,279	162,274
投資その他の資産		
投資有価証券	183,785	178,790
その他	274,915	298,545
投資その他の資産合計	458,701	477,335
固定資産合計	6,383,104	6,341,903
資産合計	16,411,098	16,813,295

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,027,690	1,383,362
電子記録債務	814,455	883,253
短期借入金	1,000,000	1,400,000
1年内償還予定の社債	184,280	134,320
1年内返済予定の長期借入金	1,005,383	920,049
リース債務	32,662	29,792
未払法人税等	102,026	88,529
賞与引当金	7,108	7,816
役員賞与引当金	9,400	—
その他	595,472	628,303
流動負債合計	4,778,479	5,475,426
固定負債		
社債	189,680	125,000
長期借入金	1,950,547	1,576,930
リース債務	155,231	152,010
役員退職慰労引当金	19,485	21,726
退職給付に係る負債	86,198	95,904
その他	164,002	170,627
固定負債合計	2,565,145	2,142,200
負債合計	7,343,624	7,617,627
純資産の部		
株主資本		
資本金	405,900	405,900
資本剰余金	604,430	604,430
利益剰余金	7,608,084	7,463,502
自己株式	△134,736	△134,736
株主資本合計	8,483,678	8,339,096
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,011	4,038
為替換算調整勘定	575,784	852,533
その他の包括利益累計額合計	583,795	856,572
純資産合計	9,067,473	9,195,668
負債純資産合計	16,411,098	16,813,295

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年7月1日 至2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年7月1日 至2022年12月31日)
売上高	6,126,405	6,328,129
売上原価	4,927,063	5,405,093
売上総利益	1,199,342	923,035
販売費及び一般管理費	955,250	945,840
営業利益又は営業損失(△)	244,091	△22,804
営業外収益		
受取利息	2,793	3,708
受取配当金	2,595	2,715
為替差益	17,141	1,855
助成金収入	25,231	28,351
その他	26,821	50,821
営業外収益合計	74,583	87,454
営業外費用		
支払利息	14,554	12,350
その他	5,950	6,331
営業外費用合計	20,504	18,682
経常利益	298,170	45,967
特別損失		
減損損失	—	58,586
投資有価証券評価損	1,498	—
特別損失合計	1,498	58,586
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	296,672	△12,619
法人税、住民税及び事業税	70,813	68,982
法人税等調整額	△2,544	14,888
法人税等合計	68,269	83,871
四半期純利益又は四半期純損失(△)	228,402	△96,490
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	228,402	△96,490

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年7月1日 至2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年7月1日 至2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	228,402	△96,490
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,422	△3,972
為替換算調整勘定	△120,114	276,749
その他の包括利益合計	△135,536	272,777
四半期包括利益	92,865	176,286
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	92,865	176,286
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	296,672	△12,619
減価償却費	370,324	362,825
減損損失	—	58,586
のれん償却額	9,255	9,255
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△220	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	866	688
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,795	△9,400
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,270	7,671
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△246	2,241
固定資産売却損益(△は益)	△1,210	△14,123
投資有価証券評価損益(△は益)	1,498	—
受取利息及び受取配当金	△5,389	△6,424
受取保険金	—	△2,448
保険解約損益(△は益)	△3,112	△4,626
支払利息	14,554	12,350
売上債権の増減額(△は増加)	467,117	△167,293
棚卸資産の増減額(△は増加)	△315,862	△145,459
未収入金の増減額(△は増加)	30,130	△13,423
仕入債務の増減額(△は減少)	△145,989	340,105
未払金の増減額(△は減少)	△51,701	17,550
未払費用の増減額(△は減少)	9,262	7,826
その他	△76,019	△4,642
小計	594,862	438,640
利息及び配当金の受取額	5,389	6,424
保険金の受取額	—	2,448
利息の支払額	△14,658	△12,484
法人税等の支払額	△186,447	△92,046
法人税等の還付額	5,179	32,879
営業活動によるキャッシュ・フロー	404,326	375,861
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△19,000	△42,402
定期預金の払戻による収入	49,000	193,482
有形固定資産の取得による支出	△130,924	△329,443
有形固定資産の売却による収入	3,462	52,698
投資有価証券の取得による支出	△1,546	△1,589
保険積立金の払戻による収入	6,662	9,842
その他	△13,837	△1,982
投資活動によるキャッシュ・フロー	△106,183	△119,394

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	—	400,000
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△475,923	△462,937
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△22,633	△17,637
社債の償還による支出	△104,640	△114,640
自己株式の取得による支出	△227	—
配当金の支払額	△121,024	△48,127
財務活動によるキャッシュ・フロー	△624,450	△243,342
現金及び現金同等物に係る換算差額	△62,299	91,011
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△388,606	104,135
現金及び現金同等物の期首残高	4,006,996	3,790,152
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,618,389	3,894,288

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年7月1日至2021年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	日本	米国	タイ	中国	合計
売上高					
自動車用部品	3,562,659	504,548	767,198	320,919	5,155,326
非自動車用部品	923,912	1,167	46,000	—	971,079
顧客との契約から生じる収益	4,486,571	505,715	813,198	320,919	6,126,405
外部顧客への売上高	4,486,571	505,715	813,198	320,919	6,126,405
セグメント間の内部売上高又は振替高	676,050	1,658	163,000	4,173	844,882
計	5,162,621	507,374	976,198	325,092	6,971,287
セグメント利益又は損失(△)	184,161	△46,188	82,740	23,968	244,681

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	244,681
セグメント間取引消去	△589
四半期連結損益計算書の営業利益	244,091

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年7月1日至2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	日本	米国	タイ	中国	合計
売上高					
自動車用部品	3,409,180	565,515	916,329	338,481	5,229,506
非自動車用部品	1,033,310	11,938	53,373	—	1,098,622
顧客との契約から生じる収益	4,442,490	577,453	969,703	338,481	6,328,129
外部顧客への売上高	4,442,490	577,453	969,703	338,481	6,328,129
セグメント間の内部売上高又は振替高	511,565	—	150,278	—	661,843
計	4,954,056	577,453	1,119,981	338,481	6,989,972
セグメント利益又は損失(△)	△178,340	△40,050	150,911	35,253	△32,227

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△32,227
セグメント間取引消去	9,422
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△22,804

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前第2四半期連結累計期間(自2021年7月1日至2021年12月31日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自2022年7月1日至2022年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					全社・消去	合計
	日本	米国	タイ	中国	計		
減損損失	58,586	—	—	—	58,586	—	58,586

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 販売実績の状況

当第2四半期連結累計期間における販売実績を用途品目別に示すと、次のとおりであります。

用途品目		前第2四半期 連結累計期間 (千円)	当第2四半期 連結累計期間 (千円)	前年同期比 (%)	前連結会計年度 (千円)
自動車用部品	シート用部品	2,188,971	2,425,183	10.8	4,541,193
	ウインドウレギュレーター用部品	557,061	548,640	△1.5	1,085,678
	ロック用部品	219,492	244,548	11.4	432,257
	エンジン用部品	961,940	789,057	△18.0	1,829,061
	足回り用部品	437,689	425,952	△2.7	853,437
	その他	790,170	796,124	0.8	1,565,793
	小計	5,155,326	5,229,506	1.4	10,307,421
その他		971,079	1,098,622	13.1	2,140,908
合計		6,126,405	6,328,129	3.3	12,448,330

主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前第2四半期 連結累計期間		当第2四半期 連結累計期間		(参考) 前連結会計年度	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
シロキ工業株式会社	985,729	16.1	985,891	15.6	1,954,089	15.7